

笑顔あふれる学校

令和6年2月1日
知立小学校だより
校長 伊藤 雅彦

さまざまな考え方がいて成り立っている

「ホテイアオイ」をご存じですか？
金魚やメダカを飼う水槽や池などによく入れる水草です。ホテイアオイは葉の元が膨らみ浮き袋の役目を果たして浮いているので、水草と呼ぶよりは浮き草として親しまれていますね。

ホテイアオイの殖え方は、株（親）から細長い茎ができ、そこに子株（子）ができて殖えていきます。またその子株（子）から新たに茎が伸びて、次の子株（孫）ができます。1つの株からどんどん数を増やしていきます。夏場にほお



【理科室で越冬中のホテイアオイ】

っておくと、ホテイアオイは水面一面に殖えていきます。合理的で、繁殖しやすい、ある意味、優れた植物と言えるかもしれません。

けれども、ホテイアオイは寒さに弱く、太陽の光が少ないと枯れてしまいます。それも枯れるときにはだんだんと1株ずつ枯れるのではなく、一度にばっと全部枯れてしまいます。それはなぜかという、親も子も孫も同じ遺伝子をもっているからです。まったく同じ性質のホテイアオイ（クローン）なので、株の数が増えてもちょっとした生育環境の変化に弱いのです。

人の考え方にも同じことが言えるかもしれません。考え方が1つしかない、または1つしか認めないとなると、全員の考えをまとめることは簡単です。仲間内ではそれでよいかもしれませんが、しかし、それでは外の世界からの変化には対応できません。変化に対応できないときは、全員が一度につまずいてしまうこともあるでしょう。さまざまな考え方がいれば、ああでもない、こうでもないといくさんの意見が出て、外の世界からの変化にも乗り越える知恵が生まれてくると思うのです。1つしか考え方をもたない集団より、一人一人違った多種多様な考え方をもった集団の方がどんなことにも心強いと思います。

みんなちがって、みんないい

知立小学校では、一人一人の考え方や個性を大切にします。さまざまな立場の人を尊重します。人権教育をよりつよく推進していきたいと思っています。





【北棟3階 6年生の教室前から見える山並み】

君にとって校歌は

「(^^♪猿投の峯が よぶ朝は 希望よ たのし この窓に～♪」
校舎から北を見ると、街並みの向こうに猿投山が大きく見えます。朝日を浴びた猿投山を眺めていると、気持ちが清々(すがすが)しくなります。

何年たっても忘れない歌があります。それは、校歌です。たくさんの歌にふれきましたが、校歌だけは忘れられません。校歌の裏には、きっと学校生活のたくさんの思い出が詰まっているからではないかと思います。

6年生があと2か月足らずで、卒業します。6年生は知立小学校の校歌を大切に思ってくれているのかなあ？

この6年間の自分自身の成長を実感し、これまでの思い出、卒業までの残りわずかな日々を大切にしてお過ごししてほしいと思います。いつまでもいつまでも校歌を大切に思う卒業生であってほしいと願います。

(ちなみに、猿投山の左側に見える雪山は「御嶽山」です。)



大谷翔平選手から グローブが送られてきました！

アメリカ大リーガー、元ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手からグローブ3つを送っていただきました。最初だれもが見たり触ったりすることができるよう廊下に展示し、現在は特別支援学級→6年生→5年生…と、じっくり使えるように各学級に回しています。

大谷選手から、子どもたちに夢を与えていただきました。先月の学校だよりも書きましたが、子どもたちが夢をもつことは大切なことです。大人は子どもたちに夢をもたせる役目があります。夢をもち、自分の可能性を広げられるように、子どもたちには日々過ごしてほしいと願います。



【グローブについていたタグ】